

全職員対象の能力向上教育により、当社独自の安全文化を醸成し、災害ゼロを目指します。



東洋建設独自の安全文化の確立と継承を追求

本社安全環境部は、1977年に人事部管掌の安全課から管理部門の安全環境部となり、2009年から社長直轄部門として独立、11支店それぞれの安全環境部と連携し、部門横断的に安全衛生・環境のリスク対応を担っています。職員能力向上教育は、職員の法令への理解と遵守が第一義の目的ですが、安全だけでなく衛生や環境といった総合的な意識や能力の向上を図り、企業としての責任を果たしていこうというものです。

この教育では、法令を上回る「東洋建設災害防止基準」の徹底を掲げ、当社独自の安全文化の確立と継承を目指しています。当社が過去に経験した災害事例の分析では、写真、図面、動画等で見える化し、原因究明から再発防止までを職員と関係者で共有できるようにしています。これは、負の遺産を風化させず確実に安全文化として継承していくことを目的としています。

普段あまり顔を合わせることのない土木職、建築職、事務職が集まった研修、グループ討議等は非常に有意義なものですが、やはり座学だけでは限界があります。今後はさらに動画やCGを取り入れるほか、実際の危険を体感できる施設を利用する等、教育レベルをより引き上げていきたいと考えています。

安全で一番大切なことはトップのリーダーシップと熱意です。経営者はもちろん、作業所長の安全に対する強い気持ちが災害ゼロにつながるので、東洋建設の安全文化を教育を通じて一層浸透させていきます。



執行役員 安全環境部長 塚本 雅志

災害ゼロを目指す職員能力向上教育の概要

職員能力向上教育は、「災害ゼロを目指す、当社の安全文化の醸成」「安全衛生と環境に関わる法令遵守」を目的とし、そのために必要な基本知識や災害事例の原因究明と再発防止対策を学ぶプログラムです。

この教育は、毎年5月に8時間、役員を除く全職員を対象としていますが、関係会社および施工系の派遣社員の方たちにも参加いただいています。また、建設産業の構造変化、法令の新設・改正等に対応して、近年だけではなく過去の死亡災害や法令違反等を掘り起こし、他社事例も含めて再発しやすい災害についてグループ討議を行い、その結果をそれぞれ発表することで、相互理解と新たな気づきの場に行っています。教育終了後には参加者全員に研修レポートを提出してもらっており、教育の理解度の検証を行うとともに、次年度の資料作成の参考にしています。



2019年度職員能力向上教育カリキュラムの内容

主なカリキュラムは以下の通りです。

- ①年度計画説明および前年度報告
今年度の安全衛生基本計画、環境基本計画の説明。前年度の災害統計と全社水平展開事項等の解説等。
- ②過去の死亡災害事例
再現動画、CG等を活用した災害原因の深掘りと分析および再発防止対策について。
- ③グループ討議と発表
2019年度は実際に起こった災害の要因分析と対策樹立についてグループディスカッションを実施。
- ④災害ゼロを目指して
「死亡重篤災害ゼロ」に向けて、および「ヒューマンエラー」防止対策。
- ⑤環境教育
環境法規制の改正点や環境に係るトピックスおよび当社が進めている環境マネジメントシステム(EMS)の改正点等について。



時間	項目	講師	
8:30 ~	1. オリエンテーション	支店	
	2. 支店経営層挨拶	支店	
	3. 2019年度 安全衛生基本計画	本社	
	4. 2019年度 環境基本計画	本社	
	5. 2018年度 災害統計と全社水平展開事項・発信文書	本社	
	6. 2019年度 危険作業教育	本社	
10:00 ~	【休憩】		
10:10 ~	7. 安全ビデオ教育(ビデオ視聴)(DVD)「忘れまじ死亡災害 不幸な災害を繰り返さないために」	合同	
	8. 過去の死亡災害事例	本社	
	9. 災害防止のためのルール ①「東洋建設災害防止基準」の改定内容 ②現場パトロールの実施方法について ③協働会社安全関係提出書類の変更点確認およびグリーンサイト導入について ④安全帯の法改正について ⑤その他 法令改正等について	本社	
	11:40 ~	【昼食】	
	12:30 ~	10. TKB式ストレッチ体操	合同
12:40 ~	11. 2019年度 パワーハラスメント防止教育	法務部	
	12. 2018年度 労基署臨検による指導事項	本社	
	13. 災害要因分析演習	合同	
14:40 ~	【休憩】		
14:50 ~	14. 災害ゼロをめざして ①「死亡重篤災害ゼロ」に向けて ②「ヒューマンエラー」防止対策	本社	
	15. 安全ビデオ教育(ビデオ視聴)(DVD)「バックホウ ヒューマンエラーに気をつけろ！」	合同	
	16. 環境教育 ①EMSの改正点について ②その他	本社	
	17. 支店教育 安全衛生管理計画ほか	支店	
~17:00			

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、講義内容と時間を短縮したオンライン研修を実施しました。

Voice

全職員一丸でつくり上げていく安全への意識

職員能力向上教育の究極の目標は、全職員の安全に対するベクトルをひとつにし、無事故無災害を目指すこと。安全は会社の経営に直結しますから、受講が終わった後もその理解を記憶に残してもらうための知恵を絞っています。受講率はほぼ100%、事実重篤な災害は減ってきていますので、一定の教育効果は現れていると思います。ただ軽微な災害を減らすためにはさらなる工夫が必要でしょう。一般職、事務職の方たちにも参加いただいているのは、会社



にとって安全がどれほど重要であるかという認識を共有してもらうためです。それが東洋建設の安全文化を支える土台になると考えています。

安全環境部
部長
北島 信也

日常とは違う視点から安全、環境を考える

建築現場の施工管理に11年携わっています。若い頃は現場が忙しいとき等、1日8時間を受講に取られるのは大変だと感じることもありましたが、年齢を重ねるにつれ安全面、環境面がいかに重要かを理解するようになりました。法令の改正や社内基準の改定等をきちんと把握していないと現場管理はできませんので、その確認の意味でもこのプログラムは助かっています。グループ討議では土木職や事務職の方たちとも同じ班になりますので、普段とは違う視点で討議できることが新鮮でした。特に一般職、事務職の方たちの「安全」に対する見方がとても参考になりましたね。



関東建築支店
建築部
福田 大介

こころから伝えたい「ご安全に」の思い

一般職として十数年勤めています。昨年から職員能力向上教育に一般職も参加することになりました。長く建設会社に勤めながら初めて知ることが多く、本当に受けてよかったと思います。過去の災害事例等は衝撃的でしたし、技術職の方たちが、普段どんなことに気をつけて作業しているのか等、未知の知識をたくさん得ることができ、私も建設業に携わっているんだという実感、一体感が湧いてきます。私たちは挨拶の終わりに「ご安全に」と合言葉のように言うのですが、受講以来、こころから「ご安全に」と思えるようになったのは、この講習のおかげです。



土木事業本部
土木企画部係長
黛 宏子